

総 括

少子高齢化や核家族化の進展等、社会状況や生活環境も大きく変化してきています。社会福祉制度については、社会生活の変化に応じて、整備拡充が図られてきました。

しかし、法律だけでは対処しきれない身近な問題が発生しています。雇用の不安定による生活困窮や高齢化社会の課題である要介護の問題、一人暮らし高齢者の孤独死、さらには高齢者虐待や児童虐待、振り込み詐欺等は、大きな社会問題となっています。

これらの背景には、人と人とのつながりの希薄化等が指摘されているところであり、地域福祉を推進していくためには、地域住民の主体性と地域コミュニティの発展が重要であると考えます。

平成25年度事業の実施にあたっては、地域福祉推進の原点である地域福祉協議会への設立の促進、要介護者・障がい者への支援をはじめとし当初の事業計画を基本とし、地域住民の理解と協力のもとに、行政及び関係機関・団体との連携を密にし、事業を展開しました。

1 地域福祉事業

住民主体の地域福祉活動を進める地域社会福祉協議会の市内全域への組織化が完了し、関係者の資質向上を図るため、役員・事務局研修会を開催しました。さらにいきいきサロン活動の周知拡大、災害ボランティアセンター設置訓練の実施等の福祉啓発活動や福祉サービス利用援助事業、生活福祉資金貸付制度等の生活支援活動に取り組みました。

2 共同募金活動・歳末たすけあい活動

地域毎に集金活動、配分委員会活動を行い、多くの市民の方々から御理解と御協力を得ることができました。

3 地域包括支援センター運営

高齢者に関する多様な問題に対処すべく、組織の充実及び質の向上を図り、在宅介護支援センターや個々の事業所等と連携し、介護、医療の相談事業に取り組むと共に介護予防事業、特にロコモ予防の普及啓発に努めました。

4 介護保険事業所

居宅介護支援事業所、訪問介護サービス事業所は、実施主体として責任を持ち、各種研修への参加など質の向上に努めながら、利用者の立場に立ったサービスの提供をしてきました。

5 受託施設等の管理・運営

のぞみ光の家、のぞみ学園、総合福祉センター運営については、柔軟かつ効率的な運営を心がけました。のぞみ光の家、のぞみ学園が一体となって、障がい児長期休業時一時預かり事業を実施しました。

事業概要

I. 地域福祉事業の推進

1. 地域福祉ネットワーク活動

(1) 地域社会福祉協議会の運営支援・設立促進

地域福祉活動の効率的、組織的な運営を通し、住民自身がたすけあい、ささえあう「福祉コミュニティ」を実現することを目的に、天童中部地域で社会福祉協議会の設立を進め、全地域の地域社会福祉協議会の組織化が完了しました。

なお、各地域社会福祉協議会の運営支援のため、地域社会福祉協議会会議（延3回）での情報提供や協議、地域社協の総会や行事等への参加、社協会費や共同募金収納の協力に努め、新たに地域社協関係者を対象とした研修会を開催しました。

地域社会福祉協議会組織化活動

(天童中部地域)

「地域社協設立準備委員会等関係者会議」	4月25日（火）	参加者11名
「地域社協設立準備委員会等関係者会議」	5月13日（月）	参加者11名
「第3回地域社協設立準備委員会」	5月29日（水）	参加者14名
「地域社協設立準備委員会等関係者会議」	7月4日（木）	参加者10名
「地域社会福祉協議会設立総会」	7月29日（月）	参加者73名

地域社会福祉協議会連絡会議状況

6月3日（月）	各種助成金及び配分金の交付について 天童市福祉推進員の委嘱（補欠）について 地域福祉活動計画の策定について 地域福祉関連事業の実施予定について 市社協会費、日赤社費の収納作業について
9月6日（金）	社協会費、日赤社費の収納実績、手数料について 社会福祉功労者表彰の実施について 健康福祉まつりの実施について 共同募金運動並びに配分金の交付について 歳末たすけあい募金並びに配分委員会の開催について
2月5日（火）	共同募金運動、歳末たすけあい運動の実績報告 次年度助成金及び配分金の交付予定について 地域包括支援センター業務・相談援助業務の報告について 福祉推進員の任期満了に伴う委嘱作業について

地域社会福祉協議会関係者研修

「地域社会福祉協議会役員・事務局研修会」 2月10日（月）参加者42名
演題 福祉をきっかけにした地域のつながりづくりをめざして
講師 岩手県立大学専任講師 菅野道生 氏

(2) 天童市福祉推進員活動の充実

地域住民の立場から、自治会長や民生児童委員と連携して高齢者や障がい者等の見守り、声かけ、住民の地域福祉ネットワークづくりを行う天童市福祉推進員の改選年度にあたり、市内に延べ335名の方を委嘱して活動を支援しました。

また福祉推進員の情報交換や研修を担う市内13地域の「福祉推進員連絡会」では各地域社協と連携して研修活動、地域福祉事業を実践しました。

平成25年度末天童市福祉推進員委嘱状況（延335名）

天童南部48名・天童中部81名・天童北部35名・成生22名・蔵増18名
寺津14名・津山25名・田麦野3名・山口18名・高掬22名・長岡29名
干布15名・荒谷5名

平成25年度各地域福祉推進員連絡会活動（抜粋）

「専門職の講師による研修会」「福祉施設視察研修」「自治会長、民生児童委員意見交換会」「住民福祉研修会開催（ダンベル体操・健康講話）」「高齢者アンケート調査」「除雪ボランティア活動」「いきいきサロン、子育てサロン運営への協力」「地域社会福祉協議会事業、善意銀行事業への協力」

(3) 「いきいきサロン」事業の普及・充実

高齢者や障がい者等、自宅で閉じこもりがちな方々の社会参加、健康増進の場であるいきいきサロンの啓発を図り、自治会や民生児童委員、福祉推進員等の支援を得て、54ヶ所で運営を行いました。さらに、一人暮らし高齢者の孤立・閉じこもり防止のための「一人暮らし高齢者激励会事業」への取組みを進めました。

また市社協事務局は、各種講師の紹介や保険加入等の事務的支援、連絡会議と研修会開催等各サロンの運営支援に努めました。市全域での実施を目標として未開設地域への啓発、平成26年度開設予定の2地域へ情報提供等の支援を行いました。

平成25年度末「いきいきサロン」開設状況（54ヶ所）

① 町内会単位（49ヶ所）

三日町・南小畑・南町・上北目・田鶴町・五日町・久野本東2区・久野本東3.4区・久野本東7区・久野本東9区・久野本東10区・久野本東12.13区・久野本東5.14.15区・久野本東16区・糠塚・柏木・泉町・東本町・老野森・綿掛・小路・乱川・北久野本1丁目・北久野本2丁目・北久野本3丁目・北久野本4丁目・北久野本5丁目・大清水・大町・西交り江・今町・向原・成生・蔵増北部・矢野目・蔵増南・温泉・寄的・若松・田麦野・道満・金谷・高掬北・清池・楯之内・にれの木団地・石倉・干布・八千代台

②市立公民館単位（5ヶ所）

長岡（2ヶ所）・成生・寺津・荒谷

③一人暮らし高齢者激励会実施いきいきサロン（50ヶ所）

平成25年度各いきいきサロン活動（抜粋）

①健康づくり ロコトレ活動、健康指導、血圧チェック、音楽療法

②趣味活動等（専門ボランティア等の指導）手芸、絵手紙、昔語り会、落語、カラオケ、交通安全講話

③各種行事等（茶話会、会食、花見、芋煮会、クリスマス、新年会、だんごさし）

④その他の事業（世代間交流、日帰りバス旅行、地区行事への参加）

平成25年度「いきいきサロン」への支援活動

①いきいきサロン連絡会議及び研修会「うたって学ぼう消費生活」の開催（3月4日）

②講師紹介、保険加入、福祉バスの利用支援（年間随時）

③開設・運営の打ち合わせ、協議への参加協力、情報提供（年間随時）

④自治会、民生児童委員、福祉推進員に対する啓発・資料発送（12月）

（4）善意銀行活動の推進

住民の皆さんの善意をお預かりして、福祉活動や困っている人のために効果的に活用するため、預託・払出業務と地域性を活かした福祉事業を展開しました。

また地域社会福祉協議会の設置済み地域では、地域社協が従来の善意銀行の預託・払出機能や事業を引継ぎして、活動にあたりました。

平成25年度 天童中部支店活動内容

「高齢者ふれあい料理教室」「家屋補修事業」

（5）子育て支援事業の実施

「母子寡婦福祉連合会」や「あゆみの会（障害児・者の会）」と協力しながら、一人親世帯並びに障がい児の親子の集いを開催、子どもたちの遊びの場づくりや親同士のコミュニケーションの場づくりに努めました。

平成25年度母子寡婦福祉連合会共催事業

7月27日（土）「サマーレクリエーション」

内容 あったまりランド深堀と大石田町内史跡めぐり 延5名

12月8日（日）「親と子のクリスマスパーティー」

内容 パステル画体験・クリスマスケーキづくり 参加者 延15名

平成25年度「あゆみの会」共催事業

「親子行事七夕会」 場所 総合福祉センター 参加者 延25名

「トランポリン体験」（延3回） 場所 県運動公園 参加者 延18名

「幼少部会・勉強会」（延6回） 場所 市内他

「施設見学会」（延2回） 場所 きらり他

2. 相談援助活動

（1）ささえあい相談所の運営

法律・生活福祉・ボランティアの各種相談窓口を開設するとともに、市民からの多様な相談に対応できるよう、市民相談室他専門機関との連携を図り、機能の充実と周知を進めました。

平成25年度ささえあい相談所相談実績（延件数）

・法律相談 52件 ・生活福祉相談 143件 ・ボランティア相談 29件

（2）「生活福祉資金」「たすけあい資金」の貸付・償還指導

主に低所得世帯の支援策として、安定した生活の実現を目的に、民生委員や行政と連携しながら、生活費・修学費用等の貸付を行いました。

また、借受人の順調な償還を図るため、文書や電話での連絡に加え、相談会の開催や自宅訪問により生活状況把握や償還指導を強化しました。

平成25年度 相談件数 126件

【生活福祉資金貸付状況】

（生活福祉資金）

申請件数14件→決定13件 不承認1件

○延貸付件数146件（内償還完了9件）

償還開始前件数 23件

順調償還件数（直近で滞納回数1～3回） 44件

滞納件数 →生活状況把握 38件

→1年以上連絡取れず 26件

その他（行方不明・債務整理や市外転居で県社協取扱い） 6件

【償還指導】

償還面接相談会：11月26日 2件 面談日程変更：3件

訪問：12月6日・16日・18日・19日 17件

電話：7件

【たすけあい資金貸付状況】

今年度貸付件数5件 償還完了2件 延貸付件数16件

(3) 福祉サービス利用援助事業の実施

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力が充分でない方や日常生活に不安のある方が、安心して自立した生活を送れるよう、他機関・他制度と調整しながら、金銭管理、通帳の預かり等の援助、相談事業を行いました。

平成25年度福祉サービス利用援助事業利用実績（平成26年3月末）

利用者14名 新規利用者2名

解約者4名（死亡により1名 自己管理希望3名）

相談援助件数334件（うち新規相談件数17件）

延訪問回数169回 生活支援員4名・専門員1名

支援内容 預金通帳・印鑑等の預かり、生活費等の払戻し、医療費等の支払い代行、口座振替等手続き、福祉サービス等の情報提供・申請支持

(4) 避難者生活相談支援事業の実施

東日本大震災の影響により、山形県内に避難されている避難者の方々の暮らしやすい環境づくりを図る「避難者生活支援」事業に取り組みました。

山形県社会福祉協議会の委託を受け、2名の相談員が避難者宅への訪問活動や、親子の集い等の企画・実施、市避難者支援サロン、NPO団体による親子サロンへの協力等を実践しました。

①訪問活動実績

訪問回数 526回／面接回数 344回

訪問対象世帯 53世帯（平成26年3月31日現在）

②きびたん room（親子の集い）開催実績

12回開催（4月19日・5月17日・6月21日・7月19日・8月23日

・9月20日・10月18日・11月15日・12月20日・1月17日

・2月21日・3月14日） 大人53名 子ども32名 延85名参加

「プチ観光（日帰り旅行）」 山川ファーム・シベールファクトリー見学

・9月2日（月） 大人9名 子ども6名 延15名参加

3. 社会福祉啓発と人材育成

(1) 社会福祉協議会だより発行

社会福祉協議会の趣旨を伝え、地域福祉活動を啓発するため、地域的话题を取り入れながら、より分かりやすく、充実した誌面づくりに努めました。

平成25年度「社会福祉協議会だより」発行状況

・6月15日号（事業計画・予算・地域福祉活動計画の策定 他）

・10月1日号（共同募金運動啓発・健康福祉まつり・はつらつ介護予防教室 他）

・1月15日号（社会福祉功労表彰者・災害ボランティアセンター設置訓練・

ボランティアサークルの紹介 他)

・ 3月15日号 (地域社協研修会・共同募金運動お礼・地域包括支援センター 他)
広報パンフレット発行状況

・ 7月 社会福祉協議会会費説明会時に配付

(2) 「いきいき・ふれあい健康福祉まつり 2013」の企画・開催

福祉や医療の関係団体、市や本会職員による事務局会議を開催して、企画立案を行い、健康センター及び総合福祉センターを会場に市民の健康と福祉の祭典にふさわしい、誰もが楽しく参加できる多様なコーナーを開設しました。

「いきいき・ふれあい健康福祉まつり 2013」開催状況

- ・ 日 時 10月12日(土) ※文化祭は10月10日・11日も開催
- ・ 会 場 市総合福祉センター／市健康センター
- ・ 参加者 約761名 (福祉センター分／文化祭出展者含む)
- ・ 内 容 <総合福祉センター会場>・社会福祉功労者表彰・福祉のまちづくり講演会・芸能大会・縁日広場・マッサージ体験コーナー・福祉団体ボランティア紹介コーナー・文化祭
<健康センター会場>・ヘルスチェックコーナー・相談コーナー・食生活改善コーナー・大腸がんクイズラリー・子どもの遊びの広場

「いきいき・ふれあい健康福祉まつり 2013」事務局会議開催状況

- ・ 期 日 7月9日(火)・8月7日(水)・9月26日(木)
- ・ 参加者 市社会福祉課・健康課・子育て支援課職員・本会職員

(3) 社会福祉功労者表彰の実施

社会福祉の分野で顕著な貢献をされた個人・団体へ感謝を表し、その功績をたたえるため、審査会での検討を経て、健康福祉まつり開会式の機会に表彰を行いました。

- ・ 「天童市社会福祉功労者表彰」 10月12日(土) 実施
- ・ 「社会福祉功労者表彰受賞者」 2個人 1団体

(4) ふれあいまちづくり講座開設

いきいきサロン等の福祉活動や小中学校での福祉教育を充実させるため、専門資格や特技を持っている講師の登録、派遣を行いました。また、広報誌に掲載し、講座の周知や講師の人材発掘に努めました。

平成25年度活動状況

〈登録講師〉 個人・団体 延25講師

(健康講話、音楽療法、点字・手話指導、折り紙、絵手紙、軽体操、昔語り、マジック、大道芸、血圧測定 他)

〈派遣実績〉 いきいきサロン・地域社協・小学校・老人クラブ等 67件

4. ボランティア活動の育成

(1) 福祉のこころ実践校事業

児童生徒の社会福祉・ボランティア活動への関心を高めるため、市内の小中学校を「福祉のこころ実践校事業」協力校に指定し、各学校との連携・協力のもと、地域ぐるみの福祉教育活動を展開しました。

平成25年度「福祉のこころ実践校事業」活動事例

①福祉のこころ実践校活動 延16校 (小学校12校・中学校4校)

「地域の福祉施設での交流活動」「高齢者疑似体験」「点字・手話の学習」

「共同募金活動」「地域行事のボランティア活動」「高齢者等との異世代間交流」
②小学校・中学校総合学習への対応
福祉教育の相談対応 5件 (講師紹介・車イスや点字セットの貸出)

(2) ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や既存のボランティア団体への支援、情報提供を継続するとともに、ボランティア講習会の開催や社協だよりへのボランティア関連記事掲載により、幅広い市民層に対してボランティア活動の啓発を行いました。

平成25年度ボランティアセンター活動状況

- ①ボランティア登録 51団体・7個人
- ②ボランティア相談対応
周知・活動依頼12件
活動希望17件
- ③ボランティア団体への支援
 - ・ボランティア団体活動費助成事業の実施4件
 - ・ボランティア室の設置、ロッカー貸出し
- ④市民へのボランティア活動周知・啓発
 - ・「いきいき・ふれあい健康福祉まつり2013」
ボランティア紹介コーナー11団体参加
 - ・社協だよりへボランティア団体紹介記事を掲載

(3) 介護ボランティア支援事業の実施

本格的な高齢社会を迎える中、高齢者が取り組む介護ボランティア活動にポイント制を導入することにより、より多くの高齢者にボランティア活動を実践していただき、高齢者の地域貢献や社会参加の促進、健康の保持や介護予防を図りました。

平成25年度登録福祉施設 延7ヶ所

「特別養護老人ホーム明幸園」「特別養護老人ホーム清幸園」
「特別養護老人ホームあこがれ・介護老人保健施設あこがれ」
「介護老人保健施設ラ・フォーレ天童」
「通所介護事業所つるかめ・となりのつるかめ」
「通所介護事業所・認知症対応型共同生活介護サポートハウスふぁみりー」
「通所介護事業所くわのまちデイサービス」
「認知症対応型共同生活介護ハートステーション西原」

平成25年度末活動登録者 延40名 (男性21名・女性19名)

(活動内容・話し相手、相談相手・趣味活動指導・園芸活動・美容指導等)

(4) 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

平成23年度に作成した災害ボランティアセンター設置マニュアルをもとに、行政や県社協、地域社協、青年会議所、NPO等と協力して、有事に備えて災害ボランティアセンター立上げまでの協議やボランティア活動支援の訓練を実施しました。

事前打合せ 9月12日

参加者：行政担当者、青年会議所、NPO、ボランティア、荒谷地域社協
災害ボランティアセンター設置運営訓練実施 10月6日

荒谷地域で開催された天童市総合防災訓練の一環として実施。

①訓練内容

- ・情報収集、伝達
- ・設置訓練（マニュアルや被害想定を基に、組織編成や人員配置等を検討。災害 VC 立上げ）
- ・ボランティアオリエンテーション（災害 VC とは・ボランティアの心得）
- ・運営訓練（受付班・マッチング班・報告受付班・ニーズ班）
- ・災害 VC の周知（参加者へチラシ配布）

②参加者

青年会議所、荒谷地域社協（民生児童委員・福祉推進員）、NPO、ボランティア団体、山形電波工業高校生、県社協 計 25 名

II. 共同募金活動・歳末たすけあい活動

1. 赤い羽根共同募金運動への協力

山形県共同募金会天童市支会として積極的な共同募金運動を展開しました。活発な広報活動の結果、一般世帯、法人、児童、生徒等、多くの方々からの理解と御協力を得ることができました。

平成 25 年度共同募金運動実績（募金総額 8,339,331 円）

- ・戸別募金 7,105,020 円（15,883 件）
- ・学校募金 243,503 円（15 件）
- ・法人募金 865,000 円（135 件）
- ・職域募金 122,724 円（1,247 件）
- ・個人募金等 3,084 円（1 件）

2. 歳末たすけあい募金の配分

民生委員・児童委員や婦人会等地域の方々のおたすけあい御協力により、活発な募金運動を展開しました。また各地域配分委員長会議の開催により、各地域の配分対象基準の平準化に努めました。

平成 25 年度歳末たすけあい募金運動実績（募金総額 4,973,055 円）

- ・戸別募金 4,889,505 円(16,360 件)
- ・篤志寄付金 83,550 円(7 件)

平成 25 年度歳末たすけあい募金配分実績（配分総額 4,973,055 円）

- ・要支援世帯 1,270,500 円(271 件)
- ・在宅の寝たきり老人 107,000 円(15 件)
- ・単身老人 697,900 円(104 件)
- ・老人夫婦世帯 94,800 円(13 件)
- ・母子家庭 1,072,100 円(143 件)
- ・父子家庭 39,000 円(4 件)
- ・在宅の長期療養者 118,000 円(20 件)
- ・在宅の重度障がい者 157,000 円(19 件)
- ・準要保護家庭児童生徒 949,700 円(171 件)
- ・各地域福祉事業 178,905 円(8 件)
- ・施設配分金 80,000 円(2 件)
- ・その他 204,600 円(25 件)
- ・社会福祉協議会地域福祉事業 3,550 円(1 件)

歳末たすけあい配分委員長会議開催状況

10月3日（木） 各地域歳末たすけあい配分委員長参加

歳末たすけあい配分委員会開催状況

12月9日（月）～12日（木） 地域毎に開催（延13地域）

配分委員会委員内訳

（地域社会福祉協議会・民生委員・児童委員・町内会・福祉推進連絡会・婦人会
小学校・中学校・市立公民館・その他）

Ⅲ 地域包括支援センター運営

1. 総合相談支援事業

(1) 総合相談・支援体制の充実

高齢者本人やご家族等の相談内容に合わせ、関係機関との連絡を図りワンストップサービスを意識した相談支援に努めました。

(延べ件数)

受付分類	平成23年度	平成24年度	平成25年度
介護保険関係・ケアマネ紹介・申請代行	519	724	643
医療との連携及び退院支援について	119	148	252
困難事例(①～⑧合計)	(253)	(266)	(346)
① 認知症高齢者世帯	78	79	65
② 精神・知的・身体障害者等家族世帯	25	44	72
③ 経済的困難	80	49	53
④ 家族・親戚からの支援困難	26	37	41
⑤ 支援受入拒否	9	29	44
⑥ 地域からの孤立	15	13	16
⑦ 利用できる施設の不足	0	0	19
⑧ 家族の介護不足	20	15	36
虐待	22	30	15
虐待の可能性	59	33	32
成年後見人制度の活用・財産・遺言関係	36	56	77
消費者被害	24	17	19
その他	388	464	317
合計	1,420	1,738	1,701
平均(月)	118.3	144.9	141.8

受付形態別実績

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
電話	555件	631件	617件
訪問	198件	200件	237件
来所	216件	295件	231件
会議	42件	62件	65件

(2) 地域におけるネットワークの構築支援

地域社協の創設に合わせた研修会への協力参加及び地域においての高齢者見守り活動についての意識啓発に努めました。

- ・天童市在宅介護支援センター連絡会(1回/月)
- ・グループホーム等運営推進会議(6ヶ所:1回/2ヶ月)

(3) 包括支援センターニュースの発行等の広報活動

消費者被害の防止、地域の福祉力向上を目的に民生委員、福祉推進員、関係機関（行政、交番、駐在所、医療機関）公共機関（行政窓口、公民館等）介護サービス事業所等に配布を行い広報活動に努めました。

・天童市地域包括支援センターニュースの発行 3回/年（7月・11月・3月）

2. 包括的・継続的マネジメント事業

(1) 地域ケア会議の開催

個別の検討を中心としたケア会議の開催に努めました。

・ケア会議等の開催 20回

※地域包括支援センター複数化に向けた検討会も開催しています。

(2) 主任介護支援専門員会議の開催

市内の居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員の資質向上と活動の支援を目的に、天童市介護支援専門員連絡会の運営についての検討を中心に会議の開催に努めました。

(3) 介護支援専門員連絡会の開催

主任介護支援専門員会議の検討内容を踏まえ、介護支援専門員連絡会の開催支援を行いました。

○天童市主任介護支援専門員会議の開催

月 日	内 容
4月18日	第1回 年間計画と役割分担
7月12日	第2回 9月開催の事例検討会の運営について
	※担当者打合せ 8月・9月
11月5日	第3回 医師会との合同研修会開催及び運営について
1月14日	第4回 2月開催の意見交換会の内容及び運営について
	※担当者打ち合わせ 12月・2月

○天童市介護支援専門員連絡会の開催

月 日	対 象	内 容
4月23日	介護サービス事業所職員 83名	体制紹介及び天童市の介護状況について 天童市における高齢者虐待の状況報告
6月12日	市内介護支援専門員 77名	成年後見人制度、任意後見人制度について
9月13日	市内介護支援専門員 45名	難病（ALS）支援について 基調講演及び事例発表
12月19日	介護サービス事業所職員 109名	天童市東村山郡医師会との合同研修会 認知症ケアの理解と支援のポイント
2月13日	介護支援専門員等 55名	医療ソーシャルワーカーと介護支援専門員による意見交換会

(4) 介護サービス事業所連絡会の開催

介護支援専門員との連携の強化を目的に介護サービス事業所連絡会の開催を支援しました。

(5) 医師会との合同研修会の開催

医療と介護の連携強化を目的に毎年天童市東村山郡医師会との合同研修会を定期開催している。今年度は12月に天童市東村山郡医師会の推薦の精神科専門医師による「認知症」に関する研修を開催しました。

3. 権利擁護事業及び認知症対策の推進

(1) 認知症理解の啓発

一般市民及び専門職等を対象に認知症の理解促進を働きかけました。

- ・ 包括ニュース等による認知症サポーター養成講座の開催の呼びかけ
- ・ 事業所の依頼による認知症サポーター養成講座の開催（イオン天童店320名）
- ・ はつらつ介護予防教室でのサポーター養成講座の開催他（一般市民35名）

(2) 消費者被害の防止対策の推進

- ・ 地域包括支援センターニュースによる啓発活動（年3回・毎号）
- ・ 天童市消費生活センター等からの情報を関係機関への提供の実施（随時）
- ・ はつらつ介護予防教室における消費生活講座の企画運営

(3) 成年後見人制度、サービス利用援助事業の周知

寄せられた相談内容を精査し、対象となる高齢者の判断能力に応じた支援に努めました。今年度前期においては、生活困窮者の相談対応が目立ちました。

- ・ 成年後見人制度申立支援1件
- ・ サービス利用援助事業支援2件
- ・ 介護支援専門員対象研修の実施「成年後見人制度、任意後見人制度について」

(4) 虐待通報への対応

虐待の疑いの相談内容を行政担当者に連絡すると共に対応の協議を図りました。5月には虐待事案にケースの措置入所の為の対応を行いました。また虐待等の通報の受付、内容の確認、実態把握の迅速化をめざし対応しました。

4. 介護予防マネジメント事業

(1) 一次予防、二次予防対策の推進

全戸配布の「基本チェックリスト」の回収結果に合わせて、運動器等に不安のある高齢者を対象に予防通所事業への参加勧奨に努めました。

介護予防事業名	平成23年度	平成24年度	平成25年度
コツコツ貯筋運動教室（運動器機能向上事業）	34	34	32
からだ湯ったり楽しく教室 （運動器機能向上・閉じこもり予防）	38	51	50
二次予防対象高齢者実態把握訪問実績	265	250	300

(2) はつらつ介護予防教室の開催

一般市民及び高齢者の介護予防を意識した講座内容を企画し運営に努めました。

今年度はロコトレの集団介入の手法により、転倒予防についての積極的な企画と運営に努めました。

(3) 在宅型予防運動の推進

今年度も福島県立医科大学の研究事業参加により、在宅での介護予防運動「ロコトレ」の普及指導に努めました。(いきいきサロン等への予防啓発14回)

5. 指定予防支援事業

(1) 給付管理の適正化

要支援1・2の認定を受けた利用者状況を確認し、要支援から要介護状態へ以降する可能性の高い方については、継続性の観点から居宅介護支援事業所へ委託を行い、適正な予防プラン作成の支援に努めました。

○予防プラン作成及び委託件数

年 度	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
延べ数	5,475		5,747		6,037	
内 容	包括	委託	包括	委託	包括	委託
	3,789	1,686	4,000	1,747	4,098	1,939
月平均	316	141	333	146	341	161

(2) 業務委託環境の整備

委託先を参集して介護予防プラン作成に関する研修会を開催、委託先への予防プラン作成の適正化支援を行うとともに継続的な支援に努めました。

IV. 介護サービス事業所運営

1. 天童市居宅介護支援事業所の運営

(1) 介護保険制度に基づく指定居宅介護支援事業所の実施

法令の定めに基づき、要介護者のケアプラン作成件数や予防プランの適切な件数を担当し、特定居宅介護支援事業所の指定の維持を図り、質の高い支援の提供と業務の管理体制を整備しました。

・居宅介護支援969件 ・予防介護支援109件

(2) 介護保険に関する各機関との連絡調整、及び手続き代行

病院からの退院や施設からの退所時の受け入れ体制を整え、在宅に戻る高齢者の円滑な支援を目指すと共に、地域包括支援センターをはじめとする関係機関と連携を図り各種研修会へ参加し、利用者の資する支援に努めました。

・事業所内会議の実施 1回/週 ・打ち合わせ 全日
・研修会への参加14回

(3) 要介護認定調査事業

介護認定の円滑な更新を目指し、担当する利用者の認定更新申請代行を適切に行うとともに、利用者本人の状況を正確に反映する認定調査に努めました。

・天童市内109件 ・県外2件

2. 天童市訪問介護サービス事業所の運営

(1) 介護保険制度に基づく訪問介護事業

居宅サービス計画に基づき、利用者毎の目標の実現に資するサービス提供を目指し発生する業務の管理体制の整備を図りました。また、提供する介護サービスの質の向上のため、処遇改善加算の実施及び訪問介護員の介護技術を高めるための研修を実施

し、毎日の打ち合わせ等を行い、利用者の情報の共有を図りました。

・利用者延べ件数 835 件 ・要支援 303 件 ・要介護 532 件

(2) 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護事業

障がいを持つ方が地域で可能な限り自立した生活を続けられるよう、利用者個々のニーズに添った居宅介護計画の作成とサービス提供を目指すために、変化する制度の対応した業務管理体制の整備を図りました。

・利用者延べ件数 204 件 ・実契約数 21 件

(3) 地域支援事業に基づく移動支援事業の実施

市からの委託事業として障がいのある方を対象に、地域活動や社会参加の実現のため契約内容に基づき適正な移動を支援する事業を実施しました。

・利用者延べ件数 68 件 ・実契約数 9 件

(4) エンゼルサポーター派遣事業の実施

双子以上を養育している保護者に対し、個々の養育方針を受け止め支援することにより、安心して子供を産み育てられる環境、“親子のふれあい”を確保できる環境づくりの援助に努めました。

・利用者延べ件数 26 件 ・実契約数 3 世帯

(5) まごころ支援事業（自主事業）の実施

介護保険、障害福祉サービス事業で対応できないサービスを本会の自主事業として補うことにより、利用者のニーズに密着したサービス提供を行い、安心して地域生活が続けられる支援に努めました。

・利用者延べ件数 35 件 ・実契約数 9 件

(6) 実習生・研修生の受入れ

福祉人材育成を目的に将来福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、介護の専門知識と介護技術の指導に努めました。

天童高校生の下記の実習生を受け入れの実施

・山形県立天童高校生 前期実習生 7 名 後期実習生 18 名

(7) その他、利用者及び地域との連携強化

利用者との信頼強化のために、年賀状の送付に加え、地震や災害時の安否確認のための地域における連絡票の整備や、大規模災害時緊急マニュアルを作成し、避難場所の確認を順次行いました。

V. 受託施設等の管理・経営

1. 天童市総合福祉センターの管理・経営

施設の良い環境整備、適切な管理・経営に努め、また、利用については、福祉活動への優先的な開放を行うとともに、より多くの市民に利用いただけるよう効率的な貸出と経営に努めながら、災害時には避難所等として利用いただけるよう太陽光発電システムの設置を行いました

(1) 福祉関連の事業、団体を優先した貸出実施

(2) 抽選による受付実施

(3) 施設の良い環境整備

(4) 同好クラブ事業の内容充実

(5) 経費の節減

平成25年度天童市総合福祉センター利用状況

- ・利用団体数 延 3,814 団体
- ・利用人数 延 54,206 人

2. 心身障がい児小規模通園施設「天童市立のぞみ学園」の管理・経営

○心身障がい児のすこやかな発達を促し、保護者と協力しながら、早期養育・早期訓練に努めました。

(1) 指導日時 月・火・水・木・金（但し、土・日・祝日・及び年末年始は除く）
午前9時～午後3時

(2) 指導内容

- ①月曜日…ことばに関する指導（言語・日常生活）
 - ②火曜日…自然環境に関する指導（散歩・植物栽培）
 - ③水曜日…個別指導・養育相談
 - ④木曜日…手先感覚に関する指導（絵画・生活訓練）
 - ⑤金曜日…運動機能を促す指導（音楽リズム・健康・動作訓練）
- ※園児の成長段階に合わせ、遊びを通して適宜に指導。

(3) 日課及び年間主要行事

9:00	登園… 身辺整理・排泄指導 連絡帳確認	4月	入園式・避難訓練	10月	健康福祉まつり
10:00	朝の会…挨拶・うた・体操・手遊び 主な活動… 集団活動・個別指導	5月	端午の節句	11月	ふくし祭
11:45	昼食… 食事・歯磨き・排泄指導	6月	のぞみ園外活動	12月	七五三参り
12:45	午睡… 個別指導	7月	七夕会	1月	クリスマス会・終業
14:45	終りの会		海辺のつどい	2月	始業・だんごさし
15:00	降園	9月	避難訓練	3月	餅つき・豆まき大会
			のぞみ園外活動		ひな祭り・卒園式

- ※その他の行事 ・誕生会 ・調理実習 ・ミュージック・ケア月2回
・のぞみ光の家との合同行事
・動作訓練会（該当児のみ）年間10回

(4) 平成25年度「のぞみ学園」通園状況

延人数12名（男児7名・女児5名）

年齢	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	合計
男	1	1	2	1	2	7
女	0	3	0	1	1	5

(5) のぞみ学園「天童市障がい児長期休業時一時預かり事業」の実施

特別支援教育を受ける市内の児童・生徒を対象に、集団生活や活動をとおり成長・発達を助長することと、子育て支援の一端をなすため、春休み・夏休みの長期休みの期間、平成25年9月からは放課後の一時預かり事業を実施しました。

・夏期実施状況	期間	平成25年7月25日から25年8月23日まで (但し、土・日・祝日及び学園行事日は除く)
	時間	午前9時から午後3時
	利用者	登録 17名
	在籍校	ゆきわり養護・山形養護・新庄養護・山大附属特別支援 楯岡特別支援・村山特別支援・天童中部・天童北部 成生・津山・長岡小の特別支援学級
・春期実施状況	期間	平成26年3月24日から26年3月28日 (但し、土・日・祝日及び学園行事日は除く)
	時間	午前9時から午後3時
	利用者	登録 11名
	在籍校	山形養護・村山特別支援・山大附属特別支援・ゆきわり 養護・天童中部小、成生小特別支援学級
・放課後一時預かり実施状況	平成25年9月2日開所	
	期間	平成25年9月2日から26年3月31日 (但し、土・日・祝日及び学園行事日は除く)
	時間	午後3時30分から午後6時30分
	利用者	登録 10名
	在籍校	山形養護・山大附属特別支援・村山特別支援・天童中部・ 津山小特別支援学級

(6) 「心理療育動作訓練会」の実施

のぞみ学園の在園児、また在園中に同訓練会に参加し、引き続き訓練を希望している卒園した肢体不自由、及び運動機能の未発達な市内在住の児童を対象に、動作の改善や、学習や家庭における生活習慣や養育指導の方向づけのために、年10回の訓練会を実施しました。

※平成26年3月31日をもって「天童市立のぞみ学園」及び「天童市障がい児長期休業時一時預かり事業」の受託を終了した。

3. 心身障がい者通所小規模作業所「のぞみ光の家」の運営

○在宅生活を送る心身障がい者のための通所施設として、生活的な訓練や作業的な訓練を通して、利用者が社会参加の喜びや生きがいを持てるように努めました。

(1) 指導訓練日時 月・火・水・木・金 (但し、土・日・祝日・及び年末年始は除く)
午前9時～午後3時

(2) 指導訓練内容

①生活訓練指導…日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。

②作業訓練指導…作業に対する興味と自信を持ち、友達と協力し合い喜びを分かち合う。

(3) 日課及び年間主要行事

9:00	登所・・・ 身辺整理・健康チェック 連絡帳提出	4月	入所式 避難訓練	10月	健康福祉まつり・ふくし祭
10:00	朝の会・・・ラジオ体操・歌・発表	5月	端午の節句	12月	クリスマス会・終業
10:30	水分補給 生活訓練・作業訓練・自主活動	6月	光の家所外活動 七夕会	1月	始業 成人お祝い会
12:00	昼食・・・ 食事指導・歯磨き・片付け	9月	避難訓練	2月	餅つき・豆まき大会
13:00	個別指導・余暇活動 (音楽・テレビ・読み聞かせなど)		親子遠足	3月	ひな祭り
14:30	清掃 役割当番 排泄指導				
14:45	終りの会・・・日誌記録・歌				
15:00	降所				

※その他の行事

- ・誕生会 ・調理実習 ・ミュージック・ケア月2回 ・のぞみ学園との合同行事
- ・親子活動日(毎週金曜日) ・動作訓練会(該当者のみ)年間10回

(4) 平成25年度「のぞみ光の家」通所状況

延人数15名(男性8名・女性7名)

年齢	21	22	23	29	32	33	34	39	48	合計
男	3		1	1	1			1	1	8
女		2	1		2	1	1			7

・平成25年5月と6月に施設入所のため4名退所する。(男3名、女1名)

※平成26年3月31日をもって「のぞみ光の家」の運営を終了した。

VI. 法人組織の管理・運営

定期的な理事会、評議員会の開催、監事による監査の実施により、法人組織の適正な管理、運営に努めました。

1. 理事会、評議員会の開催

(1) 理事会(延4回)

- ・平成25年5月28日 ・平成25年9月27日 ・平成26年1月30日
- ・平成26年3月24日

(2) 評議員会(延3回)

- ・平成25年5月28日 ・平成25年9月27日 ・平成26年3月24日

2. 監事による監査の実施(延2回)

- ・平成25年5月16日<決算監査>
- ・平成25年11月14日<中間監査>

3. 職員の資質向上のため、各種研修会への参加